

各 位

上場会社名 滝沢ハム株式会社
 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
 (コード番号: 2293)
 問合せ先責任者 管理本部長 山口 輝
 (電話番号 0282-23-5640)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月31日に公表した通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

(金額の単位: 百万円)

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,100	150	60	△90	△8.76
今回修正予想 (B)	31,870	80	5	△120	△11.68
増減額 (B-A)	△1,230	△70	△55	△30	—
増減率 (%)	△3.7	△46.7	△91.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	34,126	△354	△406	△1,487	△144.84

2. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,400	150	50	△90	△8.76
今回修正予想 (B)	28,270	90	10	△120	△11.68
増減額 (B-A)	△1,130	△60	△40	△30	—
増減率 (%)	△3.8	△40.0	△80.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	30,362	△333	△403	△1,511	△147.13

3. 修正の理由

(個別業績予想の修正理由)

当期の売上高につきましては、食肉部門は経済情勢の悪化に伴う個人消費の低迷から高価格帯の和牛を中心に国産牛肉の消費が低迷しこの部門の売上高は減少しました。食肉加工品につきましては、惣菜部門は消費者ニーズに合った低価格志向のハンバーグ類が好調に推移し、売上高は増加いたしました。ハム・ソーセージ類は不採算商品の絞り込みや個人消費の悪化による店頭での小売価格の低

下及び昨年の上期に取引先の商品政策の変更による当社PB商品の取り扱い減少があり、この部門の売上高も減少いたしました。

営業損益及び経常損益につきましては、前期に実施いたしました工場閉鎖等の効果により製造経費を中心に計画どおりのコスト削減をすることができましたが、食肉加工品売上の減少により売上総利益が減少したため営業利益 90 百万円、経常利益 10 百万円の計上となり、当初予想を下回る見込みとなりました。

また、当期純損益につきましては、営業利益、経常利益の減少要因に加えて新たに、投資有価証券評価損 21 百万円を計上したこと等により当期純損益についても前回予想を下回り 120 百万円の当期純損失を計上する見込みとなりました。以上の理由により、平成 20 年 10 月 31 日に発表いたしました個別通期業績予想を修正いたします。

(連結業績予想の修正理由)

連結業績予想の修正につきましては、主に個別業績予想の修正に伴うものであります。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上